

実施学年	1年	実施教科 (科目)	国語	実施日	H24. 11. 06
単元名	くらべてよもう 「じどう車くらべ」				
本時の内容 (項目)	教科書のモデル文にならない、「そのために」を使って「しごと」と「つくり」を関連させて書いている。(1) イ・ウ				
本時の目標	実際に動いている映像や知識をもとに、はしご車の「しごと」と「つくり」をとらえ、はしご車の自動車図鑑を「しごと」と「つくり」に分けて書くことができる。				
授業場所	1年2組教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習		
ICT活用場面	導入・展開		ICTの主な 活用者	教師	
活用するICT 機器	電子黒板				
ICTを活用する 目的・ねらい・ 予想される効果	【目的・ねらい】 電子黒板にはしご車の映像を出すことではしご車に対して興味関心を持たせ、「しごと」と「つくり」を確実に把握しながら自動車図鑑を作成する手立てとする。 【効果】 実際にはしご車が動いている映像を見ることによって、どこがどのように動くのかを確認することができ、「しごと」と「つくり」について正しく理解することができる。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・ 指導内容	・意見交流の場で、児童が電子黒板に丸を書きながら説明をすることで、伝え合う力を伸ばす。				
利用するコン テンツ名・サ イト等	Windows Media Player				
参考にしたサ イト・文 献等	はしご車搭乗体験 Fire ladder truck [HD] http://palvis.s190.xrea.com/disneyland/CQ8AIDbJiCQ.html				
事前の準備	・映像資料（仕事をしているはしご車）→電子黒板用 ・教科書挿絵（はしご車）→黒板掲示用 ・自動車図鑑拡大版				

指導計画（授業の展開）	<p>1. 教科書を読み、本時の学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> はしご車の「しごと」と「つくり」についてかんがえ、じどう車ずかんにまとめよう。 </div> <p>2. 電子黒板ではしご車の静止画像を提示する。</p> <p>3. はしご車について知っていることを発表する。</p> <p>4. 電子黒板で、仕事をしているはしご車の映像を見る。</p> <p>5. はしご車の映像を使いながら、「しごと」と「つくり」について話し合う。</p> <p>6. はしご車の「しごと」と「つくり」について、教師と一緒に文章化し、各自で自動車図鑑カードにまとめる。</p> <p>7. 余白に絵を描き、自動車図鑑カードを仕上げる。</p>	（※情報モラルの指導内容） ※提示する資料には、全て出典を明記する。
ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心をもたせるために、資料を精選し、提示方法を工夫する。 ・児童に注目させたい部分分かりやすいものを準備する。 	
ICT を活用した授業時の児童生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・「何が出てくるの？」と興味をもつ児童が多くいた。 ・はしご車の映像を見ている時は本当に興味津々で、「はしごが伸びた！」「すごい！」などといった反応が出た。 ・「しごと」と「つくり」について意見交流を行う時に、挙手発言がとても積極的になった。 ・自動車図鑑をまとめる時に、それまでの自動車図鑑よりも具体的に絵に書き込みをする姿が見られた。 	
ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）	はしご車が実際に動いている映像を見せたことで、教科書の挿絵や言葉で説明するよりも、児童が興味関心をもったという手応えを感じることができた。また、意見交流での姿や児童が作成した自動車図鑑から、「しごと」と「つくり」について確実に理解させることができたと感じる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと様々な教科で ICT 機器を使用する機会を設けるべきである。 ・ICT 機器を使った授業があまり実践されておらず、資料準備が一からになってしまう。そのため、作成した資料は学校内のサーバーに保管をし、今後共有していくべきである。 	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。